

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公表番号】特表2002-514180(P2002-514180A)

【公表日】平成14年5月14日(2002.5.14)

【出願番号】特願平10-512818

【国際特許分類第7版】

C 0 7 C 311/19

A 6 1 K 31/343

A 6 1 K 31/381

A 6 1 K 31/397

A 6 1 K 31/4025

A 6 1 K 31/404

A 6 1 K 31/443

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 P 9/04

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00

C 0 7 D 209/88

C 0 7 D 307/91

C 0 7 D 333/76

C 0 7 D 405/12

C 0 7 D 407/12

【F I】

C 0 7 C 311/19

A 6 1 K 31/343

A 6 1 K 31/381

A 6 1 K 31/397

A 6 1 K 31/4025

A 6 1 K 31/404

A 6 1 K 31/443

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 P 9/04

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 D 209/88

C 0 7 D 307/91  
C 0 7 D 333/76  
C 0 7 D 405/12  
C 0 7 D 407/12

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月19日(2004.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成16年8月19日

特許庁長官 小川 洋 殿

## 1. 事件の表示

平成10年特許願第512818号

## 2. 補正をする者

住 所 アメリカ合衆国ニュージャージー州 07950. モーリス  
プレインズ. テイバーロード201

名 称 ワーナーランバート・コンパニー

## 3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区麹町一丁目10番地(麹町広洋ビル)

電 話 (3261)2022

氏 名 (9173) 高木千嘉



(外1名)

## 4. 補正命令の日付 (自発)

## 5. 補正対象書類名

請求の範囲

## 6. 補正対象項目名

請求の範囲

## 7. 補正の内容

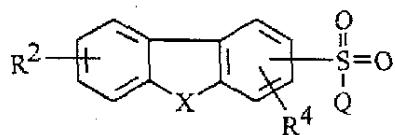
請求の範囲を別紙のとおり補正します。

審査  
16.8.19



## 請求の範囲

## 1. 式 I



(式中、Qは、非天然のアミノ酸であり、

XはO、S、S(O)<sub>n</sub>、CH<sub>2</sub>、COまたはNR<sup>33</sup>であり、

R<sup>33</sup>は水素、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキルまたはC<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキルフェニルであり、

R<sup>2</sup>およびR<sup>4</sup>は独立して水素、C<sub>1</sub>～C<sub>5</sub>アルキル、フェニル、-NO<sub>2</sub>、ハロゲン、-OR<sup>5</sup>、-CN、-CO<sub>2</sub>R<sup>5</sup>、-SO<sub>3</sub>R<sup>5</sup>、-CHO、-COR<sup>5</sup>、-CONR<sup>5</sup>R<sup>6</sup>、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>NR<sup>5</sup>R<sup>6</sup>、-CF<sub>3</sub>または-NHCOR<sup>5</sup>であり、

R<sup>5</sup>およびR<sup>6</sup>はそれぞれ独立して水素またはC<sub>1</sub>～C<sub>5</sub>アルキルであり、そして

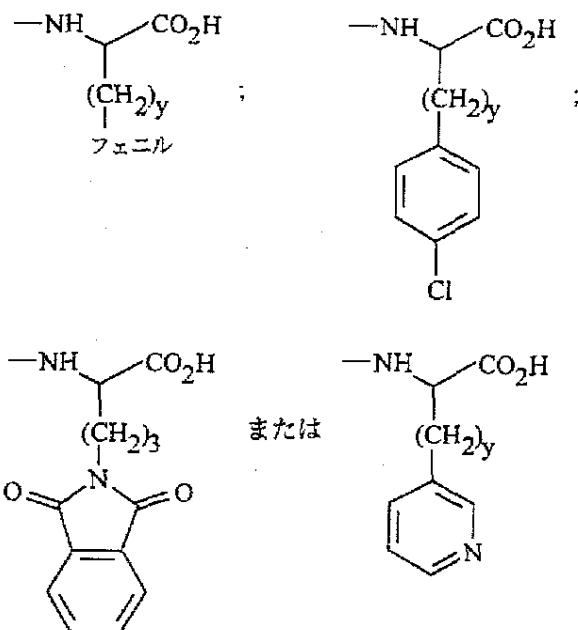
nは0～2である)

の化合物およびその製薬上許容される塩、エステル、アミドおよびプロドラッグ。

2. XがO、S、CH<sub>2</sub>、NR<sup>33</sup>、COまたはS(O)<sub>n</sub>である請求項1に記載の化合物。

3. R<sup>2</sup>およびR<sup>4</sup>が水素である請求項1記載の化合物。

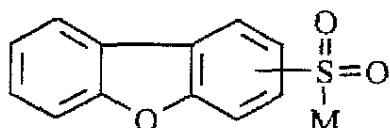
4. Qが



であり、そして、Yが2～5である、

請求項1に記載の化合物。

### 5. 式II



II

(式中、Mは非天然のアミノ酸である)

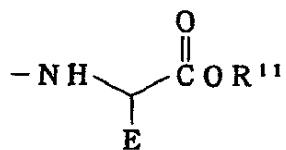
の化合物およびその製薬上許容される塩、エステル、アミドおよびプロドラッグ。

6. Mが、D-グリシン、D-アラニン、D-バリン、D-ロイシン、D-イソロイシン、D-フェニルアラニン、D-プロリン、D-セリン、D-スレオニン、D-チロシン、D-アスパラギン、D-グルタミン、D-リジン、D-アルギニン、D-トリプトファン、D-ヒスチジン、D-システイン、D-メチオニン、D-アスパラギン酸またはD-グルタミン酸である請求項5に記載の化合物。

7. 請求項1に記載の化合物を含む、マトリックスメタロプロテイナーゼ阻害剤。

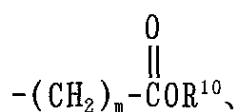
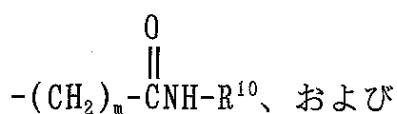
8. 多発性硬化症、アテローム性動脈硬化症plaques破壊、再狭窄、大動脈瘤、心不全、歯周疾患、角膜潰瘍化、火傷、褥瘡、慢性潰瘍若しくは外傷、癌転移、腫瘍の血管形成、関節炎、または白血球の組織侵入による自己免疫疾患若しくは炎症性疾患を治療するために用いられる請求項7に記載のマトリックスメタロプロテイナーゼ阻害剤。

9. Qが、



であり、

Eが、  
 $-(\text{CH}_2)_n-\text{NH}-\text{Z}-\text{R}^{10}$ 、  
 $-(\text{CH}_2)_n-\text{S}-\text{C}(\text{フェニル})_3$ 、  
 $-(\text{CH}_2)_n-\text{O}-(\text{CH}_2)_L-\text{フェニル}$ 、  
 $-(\text{CH}_2)_n-\text{O}-\text{C}_1\sim\text{C}_6\text{アルキル}$ 、  
 $-(\text{CH}_2)_n-\text{アリール}$ 、  
 $-(\text{CH}_2)_n\overset{\text{O}}{\underset{\parallel}{\text{C}}}\text{R}^{10}$ 、  
 $-(\text{CH}_2)_n\text{NHSO}_2-\text{アリール}$ 、  
 $\text{C}_1\sim\text{C}_6\text{アルキル}$ 、  
 $\text{フェニル}$ 、  
 $-(\text{CH}_2)_n-\text{シクロアルキル}$ 、  
 $-(\text{CH}_2)_n\overset{\text{O}}{\underset{\parallel}{\text{C}}}\text{アリール}$ 、



Zは、  
 $\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ -\text{C}- \end{array}$ 、  
 $\begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ -\text{C}- \end{array}$ 、  
 または $\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ -\text{S}- \end{array}$ であり、  
 $\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{O} \end{array}$

mが、1～6であり、

Lが、1～6であり、

R<sup>10</sup>が、 $-\text{O}(\text{CH}_2)_n-$ アリール、

$-(\text{CR}^{11}\text{R}^{12})_n-\text{S}-$ アリール、

$-(\text{CR}^{11}\text{R}^{12})_n-\text{S}-$ ヘテロアリール、

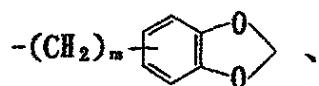
$-(\text{CR}^{11}\text{R}^{12})_n-\text{O}-$ アリール、

$-(\text{CR}^{11}\text{R}^{12})_n-\text{O}-$ ヘテロアリール、

$-(\text{CR}^{11}\text{R}^{12})_n-$ アリール、

$-(\text{CH}_2)_n-\text{C}_2\sim\text{C}_8$ シクロアルケニル、

$-(\text{CH}_2)_n-$ ヘテロアリール、

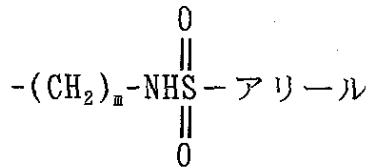


$-\text{NH}-\text{C}_2\sim\text{C}_8$ シクロアルキル、

$-(\text{CH}_2)_n\text{NH}-$ アリール、

$-\text{NH}-\text{C}_1\sim\text{C}_6$ アルケニル、

$-\text{NH}-$ アダマンチル



$-\text{C}_2\sim\text{C}_8$ シクロアルキル、

$-(\text{CH}_2)_n-\text{C}(\text{フェニル})_3$ 、

-NH-アリール、  
 -NH(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-アリール、  
 -(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup>、  
 -NH-ヘテロアリール、  
 -NH-CH(フェニル)<sub>2</sub>  
 -C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルケニル-フェニル、  
 -シクロアルキル-フェニル、  
 -CH-フェニル  
 |  
 シクロアルキル、  
 -OC<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル、  
 C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル、  
 O-アダマンチル、  
 O-C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルケニル、  
 アリール、  
 ヘテロアリール、または  
 -(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-CH(フェニル)<sub>2</sub> であり、または

R<sup>11</sup> および R<sup>12</sup> は、それぞれ独立して水素または C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub> アルキルである、  
 請求項 1 に記載の化合物。

10. R<sup>11</sup> が水素である請求項 9 に記載の化合物。

11. E が、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-NH-Z-R<sup>10</sup> であり、そして

0  
 ||  
 Z が、-C- である、

請求項 9 に記載の化合物。

12. E が、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-NH-Z-R<sup>10</sup> であり、そして

0  
 ||  
 Z が、-S- である、  
 ||  
 0

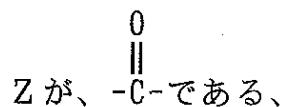
請求項 9 に記載の化合物。

13.  $R^{11}$  が、水素であり、

$X$  が、O であり、

$R^2$  および  $R^4$  が、水素であり、

E が、 $-(CH_2)_n-NH-Z-R^{10}$  であり、そして



請求項 9 に記載の化合物。

14.  $R^{10}$  が、 $-O(CH_2)_n$ —フェニル、

$-(CH_2)_n$ —フェニル、

$-(CH_2)_n$ —ヘテロアリール、

$-(CH_2)_n-O$ —フェニル、

$-(CH_2)_n-O$ —ヘテロアリール、または

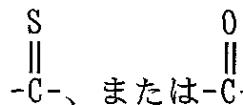
$-(CH_2)_n$ —ナフチルである、

請求項 13 に記載の化合物。

15.  $R^{10}$  が、フェニル、ヘテロアリール、ナフチルまたは  $C_2 \sim C_6$  アルケニ

ルーフェニルである請求項 12 に記載の化合物。

16. Z が、



17.  $R^{10}$  が、 $-NH$ —ヘテロアリール、

$-NH-(CH_2)_n$ —フェニル、

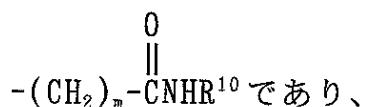
$-NH-(CH_2)$ —ナフチル、

$-NH$ —アダマンチル、または

$-NH-C_2 \sim C_6$  アルケニルである、

請求項 16 に記載の化合物。

18. E が、



$R^{11}$  が水素であり、

$X$  が 0 であり、そして

$R^2$  および  $R^4$  が水素である、

請求項 9 に記載の化合物。

19.  $R^{10}$  が、 $-(CH_2)_m$ -ヘテロアリール、

$C_1 \sim C_6$  アルキル、

フェニル、

$-(CH_2)_m-NH(C_1 \sim C_6$  アルキル)、

$-(CH_2)_n-N(C_1 \sim C_6$  アルキル)<sub>2</sub>、または

$-(CH_2)_m$ -フェニルである、

請求項 18 に記載の化合物。

20. 化合物；

(S)-3-[ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ]-メチル]

-5-メチル-ヘキサン酸、

(S)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-フェニル-酪酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-5-フェニル-ペニタン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-フェニル-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-7-フェニル-ヘプタン酸、

4-(4-クロロ-フェニル)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-酪酸、

5-(4-クロロ-フェニル)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ペニタン酸、

6-(4-クロロフェニル)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

7-(4-クロロフェニル)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘプタン酸、

8-(4-クロロフェニル)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-オクタン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-(1,3-ジオキソ-1,3-ジヒドロ-イソインドール-2-イル)-酪酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-5-(1,3-ジオキソ-1,3-ジヒドロ-イソインドール-2-イル)-ペンタン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-(1,3-ジオキソ-1,3-ジヒドロ-ベンゾ[f]イソインドール-2-イル)-酪酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-5-(1,3-ジオキソ-1,3-ジヒドロ-ベンゾ[f]イソインドール-2-イル)-ペンタン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-(1-オキソ-1,3-ジヒドロ-イソインドール-2-イル)-酪酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-5-(1-オキソ-1,3-ジヒドロ-イソインドール-2-イル)-ペンタン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-5-(4-プロピルフェニル)-ペンタン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-ピリジン-3-イル-酪酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-5-ピリジン-3-イル-ペンタン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-コハク酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ペンタン二酸、

- 2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン二酸、  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-コハク酸 4-メチルエステル、  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ペントタン二酸 5-メチルエステル、  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン二酸 6-メチルエステル、  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-3-(4-ヒドロキシフェニルスルファニル)-プロピオン酸、  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ペント-4-エン酸、  
2-[ (ジベンゾフラン-2-スルホニル)-メチルアミノ] -5-フェニル-ペントタン酸、  
5-(4-クロロフェニル)-2-[ (ジベンゾフラン-2-スルホニル)-メチルアミノ]-ペントタン酸、  
2-[ (ジベンゾフラン-2-スルホニル)-メチルアミノ] -5-(1,3-ジオキソ-1,3-ジヒドロ-イソインドール-2-イル)-ペントタン酸、  
2-[ (ジベンゾフラン-2-スルホニル)-フェネチルアミノ] -5-フェニル-ペントタン酸、  
2-[ (ジベンゾフラン-2-スルホニル)-ピリジン-3-イル-メチルアミノ] -5-フェニル-ペントタン酸、  
5-(4-クロロフェニル)-2-[ (ジベンゾフラン-2-スルホニル)-イソブチルアミノ]-ペントタン酸、  
2-[ベンジル-(ジベンゾフラン-2-スルホニル)アミノ] -5-(4-エチルフェニル)-ペントタン酸、

2 - [ (ジベンゾフラン-2-スルホニル) - (2-フェノキシ-エチル) - アミノ] - ペント-4-エン酸、

6 - [ 2 - (4-クロロフェノキシ) - 2-メチルプロピオニルアミノ] - 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - [ 2 - (ビリジン-4-イルスルファニル) - アセチルアミノ] - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - [ 2 - (2,4-ジクロロフェノキシ) - アセチルアミノ] - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - [ 2 - (2-トリフルオロメチルフェニル) - アセチルアミノ] - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (2-チオフェン-2-イル-アセチルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (2-フェノキシ-ブチリルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (フェニルスルファニル-アセチルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (2-フェノキシアセチルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - [ 2 - (3,4-ジメトキシフェニル) - アセチルアミノ] - ヘキサン酸、

6 - [ 2 - (4-tert-ブチルフェノキシ) - アセチルアミノ] - 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - [ 3 - (3,4-ジメトキシフェニル) - プロピオニルアミノ] - ヘキサン酸、

6 - (2-(シクロペント-1-エニル-アセチルアミノ)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-[2-(4-メトキシフェノキシ)-アセチルアミノ]-ヘキサン酸、  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-[2-(ナフトレン-1-イルオキシ)-アセチルアミノ]-ヘキサン酸、  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-[2-(4-ニトロフェノキシ)-アセチルアミノ]-ヘキサン酸、  
6-[4-(4-クロロ-3-メチルフェノキシ)-ブチリルアミノ]-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-[3-(4-メトキシフェニル)-プロピオニルアミノ]-ヘキサン酸、  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(2-ピリジン-3-イル-アセチルアミノ)-ヘキサン酸、  
6-(2-ベンゾ[1,3]ジオキソール-5-イル-アセチルアミノ)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(2-ピリジン-2-イル-アセチルアミノ)-ヘキサン酸、  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-[4-(4-ニトロフェニル)-ブチリルアミノ]-ヘキサン酸、  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(3-ピリジン-4-イル-プロピオニルアミノ)-ヘキサン酸、  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(2-フェニルアミノ-アセチルアミノ)-ヘキサン酸、  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(2-インドール-1-イル-アセチルアミノ)-ヘキサン酸、  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-[3-(2-メトキシフェニル)-プロピオニルアミノ]-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(4-フェニル-ブチリルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(3-p-トリル-プロピオニルアミノ)-ヘキサン酸、

6-[3-(4-クロロフェニル)-プロピオニルアミノ]-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

6-[2-(2-ベンジルオキシフェニル)-アセチルアミノ]-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-[2-ナフタレン-2-イル-アセチルアミノ]-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-[2-ナフタレン-1-イル-アセチルアミノ]-ヘキサン酸、

6-[3-(4-クロロフェノキシ)-プロピオニルアミノ]-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(6-フェニル-ヘキサノイルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(4-チオフェン-2-イル-ブチリルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(3,3,3-トリフェニル-プロピオニルアミノ)-ヘキサン酸、  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(3-ジエチルアミノ-プロピオニルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(1-フェニル-シクロプロパンカルボニルアミノ)-ヘキサン酸、

6-(3-ベンゾ[1,3]ジオキソール-5-イル-プロピオニルアミノ)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

6-[ (シクロペンチルフェニル-アセチル) -アミノ] -2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6-[3-(4-メトキシフェニル) -ウレイド] -ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6-[3-(3,4-ジクロロフェニル) -ウレイド] -ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6-(3-ピリジン-3-イル-チオウレイド) -ヘキサン酸、

6-(3-ベンズヒドリル-チオウレイド) -2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -ヘキサン酸、

6-(3-ベンジル-チオウレイド) -2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -ヘキサン酸、

6-(3-アダマンタン-1-イル-チオウレイド) -2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6-(3-ナフタレン-2-イル-チオウレイド) -ヘキサン酸、

6-(3-アリル-ウレイド) -2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -ヘキサン酸、

6-(3-ベンジル-ウレイド) -2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6-(3-フェニル-ウレイド) -ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6-(3-フェニル-アクリロイルアミノ) -ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-フェニルアセチルアミノ-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(3-フェニル-プロピオニルアミノ)-ヘキサン酸、

6-[2-(4-クロロフェノキシ)-アセチルアミノ]-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-[2-(2,4,6-トリイソプロピルフェニル)-アセチルアミノ]-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(2-フェニル-ブチリルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(4-フルオロ-ベンゼンスルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(4-メトキシ-ベンゼンスルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

6-(4-ブロモ-ベンゼンスルホニルアミノ)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

6-(2-アセチルアミノ-チアゾール-5-スルホニルアミノ)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

6-(4-アセチルアミノ-ベンゼンスルホニルアミノ)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

6-ベンゼンスルホニルアミノ-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

6-(ブタン-1-スルホニルアミノ)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(ナフタレン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

- 2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(ナフタレン-1-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、
- 2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(2-フェニル-エテングリルスルホニルアミノ)-ヘキサン酸、
- 2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-イソブトキシカルボニルアミノ-ヘキサン酸、
- 2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(9H-フルオレン-9-イルメトキシカルボニルアミノ)-ヘキサン酸、
- 6-(アダマンタン-1-イルオキシカルボニルアミノ)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、
- 6-アリルオキシカルボニルアミノ-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、
- 2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-(2-ピリジン-4-イル-エチルカルバモイル)-酪酸、
- 2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-(2-メチル-ブチルカルバモイル)-酪酸、
- 2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-(2-ヒドロキシ-プロピルカルバモイル)-酪酸、
- 2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-(4-プロピル-フェニルカルバモイル)-酪酸、
- 2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-(2,2-ジフェニル-エチルカルバモイル)-酪酸、
- 4-シクロプロピルカルバモイル-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-酪酸、
- 2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-[ (チオフェン-2-イルメチル)-カルバモイル]-酪酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-(1,3-ジメチル-ブチルカルバモイル)-酪酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-(2-ジメチルアミノ-エチルカルバモイル)-酪酸、

4-ベンジルカルバモイル-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-酪酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-(2-チオフェン-2-イル-エチルカルバモイル)-酪酸、

4-(4-クロロ-フェニルカルバモイル)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-酪酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-(4-フェニル-ブチルカルバモイル)-酪酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-[2-(1-メチル-1H-ピロール-2-イル)-エチルカルバモイル]-酪酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-(2-メトキシ-ベンジルカルバモイル)-酪酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-[ (ナフタレン-1-イルメチル)-カルバモイル]-酪酸、

6-ベンジルオキシカルボニルアミノ-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ペンタン二酸1-tert-ブチル エステル、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-フェネチルカルバモイル-酪酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-4-オキソ-4-(4-プロピル-フェニル)-酪酸、

2-(ジベンゾチオフェン-2-スルホニルアミノ)-4-フェニル  
-酪酸、

3-(4-tert-ブトキシ-フェニル)-2-(ジベンゾフラン-2-  
-スルホニルアミノ)-プロピオン酸、

3-ベンジルオキシ-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)  
-プロピオン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-5-(トルエン-  
4-スルホニルアミノ)-ペンタン酸、

5-ベンジルオキシカルボニルアミノ-2-(ジベンゾフラン-2-  
-スルホニルアミノ)-ペンタン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-酪酸、

3-tert-ブトキシ-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)  
-プロピオン酸、

(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-フェニル-酢酸、または  
2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-3-(4-フルオ  
ロフェニル)-プロピオン酸

である請求項1に記載の化合物。